

令和5年度 水戸日建工科専門学校 学校関係者評価 報告書

評価対象期間

自：令和 5年 4月 1日

至：令和 6年 3月 31日

学校関係者評価委員会

学校関係者評価の概要と実施状況

1 目的

学生が建築・インテリアデザインに関する質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指し、教育水準の保証と向上を図ることが重要である。

このことから、学校の教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価を行い、その結果に基づき、学校運営の改善を図っていく。

2 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者等により構成する「学校関係者評価委員会等」が、令和元年度の学校業務について、学校が自ら行った自己評価結果についての評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。

3 組織

(1) 学校関係者評価委員会

委員長	吉田 大輔	(校長)
委員	雑賀 将信	(企業・業界団体)
	酒井 麻紗子	(企業・業界団体)
	富山 海	(卒業生)

(2) 任期

委員任期を2021年4月1日から2023年3月31日（2年間）とする

4 評価概要

自己評価書を学校関係者評価委員に事前配布し確認を得た。学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果について説明し、学校関係者としての評価を行った。

なお、会議の進行及び必要な事務は学校（事務局）が行い、自己評価結果に対する公正な評価に努めた。

5 自己評価概要

(1) 自己評価書項目

自己評価項目は、文部科学省による「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠し、本校の実状に合わせ、必要な取捨選択を行った。自己評価の項目は次の通り。

【1】教育理念・目標・人材育成像

- ①理念・目的・育成人材像は定められているか
- ②学校の特色は何か
- ③学校の将来構想を抱いているか

【2】学校運営

- ①運営方針は定められているか
- ②事業計画は定められているか
- ③運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか
- ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

【3】教育活動

- ①各学科の教育目標・育成人材像は、その学科に対応する業界の人材のニーズに向けて正しく方向付けられているか
- ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか
- ③カリキュラムは体系的に編成されているか
- ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

【4】教育成果

- ①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか
- ②資格取得率の向上が図られているか

③退学率の低減が図られているか

【5】 学生支援

①就職に関する体制は整備されているか

②学生相談に関する体制は整備されているか

③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか

④学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか

【6】 教育環境

①施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

②学外実習・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

③防災に対する体制は整備されているか

【7】 学生の募集と受け入れ

①学生募集活動は、適正に行われているか

②学生募集活動において、教育効果は正確につたえられているか

③入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

④学納金は妥当なものとなっているか

【8】 財務

①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

②予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか

③財務について会計監査が適正に行われているか

④財務情報公開の体制整備はできているか

【9】 法令等の遵守

①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

④自己点検・自己評価結果を公開しているか

【10】 社会貢献

①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

②学生のボランティア活動を奨励・支援しているか

6 学校関係者評価委員会の実施状況

1) 学校関係者評価委員会実施日時・場所

日時 : 令和6年3月29日(金) 18:00~20:00

場所 : 水戸日建工科専門学校 本館2階大教室

2) 学校関係者評価委員会 進行状況

(1)事務連絡(挨拶、配布資料確認)

(2)校長挨拶 学校関係者評価全体説明

(3)評価方法説明

(4)議長選出

(5)学校関係者評価委員会開始

自己評価結果の開設とその評価

①教育理念・目標・人材育成像

②学校運営

③教育活動

④教育成果

⑤学生支援

・・・評価結果の判定(評価シート記入)・・・

⑥教育環境

⑦学生の募集と受け入れ

⑧財務

⑨法令等の遵守

⑩社会貢献

・・・評価結果の判定(評価シート記入)・・・

(6)学校関係者評価の総評と意見交換

(7)学校見学

7 学校関係者評価総括

令和4年度における学校業務について、自己評価結果の報告をもとに学校関係者としての評価を行った。改善された項目、あるいは引続き検討を要する課題も見受けられたが、学校関係者評価委員の適切な助言もあり全般的に良好な自己評価の内容が確認できた。学校関係者評価の観点と照らし合わせ、『適切な結果』であると総括する。

最後に、学校関係者評価委員のご協力に感謝申し上げます。

8 項目別評価結果

[1] 教育理念・目的・育成人材像等

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	○			
1-2	学校の特色は何か	○			
1-3	学校の将来構想を抱いているか		○		

評価結果	適切	不適切
------	----	-----

コメント記載欄

- ・ 適切に評価されている
- ・ 評価は適切と判断しました
- ・ 適切である
- ・ 建築士を目指すという学校の特色が出てきた
- ・ 将来構想がしっかりと計画されているので、更に上を目指して欲しい
- ・ 建築業界を背負って立つ人材をより多く育成して欲しい

8 項目別評価結果

[2] 学校運営

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
2-1	運営方針は定められているか	○			
2-2	事業計画は定められているか	○			
2-3	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	○			
2-4	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	○			

評価結果	適切	不適切
------	----	-----

コメント記載欄

- ・適切である
- ・適切に評価されています
- ・評価は適切です
- ・事業計画にもある学生確保に向け頑張ってください
- ・募集目標の数値を達成し、更に上を目指して欲しい
- ・給与規定もしっかりとしている
- ・定員増をしても学生を確保している
- ・将来、子供の人口減少に対しての対策を検討して欲しい

8 項目別評価結果

[3] 教育活動

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
3-1	各学科の教育目標・育成人材像は、その学科に対応する業界の人材のニーズに向けて正しく方向付けられているか	○			
3-2	修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	○			
3-3	カリキュラムは体系的に編成されているか	○			
3-4	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	○			

評価結果	適切	不適切
------	----	-----

コメント記載欄

- ・ 適切である
- ・ 適切に評価されています
- ・ 評価は適切です
- ・ 建築業界への人材ニーズは明確であり、業界に役立つ人材育成に向け頑張ってください
- ・ 2級建築士の高い合格率はカリキュラムがしっかりとしているからなの分かります
- ・ 2級建築士の合格率向上を目指し、更に頑張ってください
- ・ 各学科の知識向上を目指し、更に頑張ってください
- ・ 建築士以外の資格に対し、合格率が向上している
- ・ 建築士以外の資格取得を目指し、更に頑張ってください

8 項目別評価結果

[4] 教育成果

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
4-1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	○			
4-2	資格取得率の向上が図られているか	○			
4-3	退学率の低減が図られているか		○		

評価結果	適切	不適切
------	----	-----

コメント記載欄

- ・ 適切である
- ・ 適切に評価されています
- ・ 評価は適切です
- ・ 就職率100%達成に向け就職指導や企業との友好関係構築など学校側の努力がわかりました
- ・ 2級建築士以外のインテリアコーディネーター、2級管理施工技士などの取得率が向上している
- ・ 退学率を低減するために担任教員のサポートなど、きめ細やかな対応をお願いしたい
- ・ 退学者の多さが気になる
- ・ 進路変更など理由もわかりますが、サポートをしっかりとお願いしたい

8 項目別評価結果

[5] 学生支援

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
5-1	就職に関する体制は整備されているか	○			
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	○			
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	○			
5-4	学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	○			

評価結果	適切	不適切
------	----	-----

コメント記載欄

- ・ 適切である
- ・ 適切に評価されています
- ・ 評価は適切です
- ・ 面接練習、履歴書の書き方など進路指導担当がサポートしながら組織的に指導する体制になっている
- ・ 特待生制度や奨学金制度、修学支援対象校となり学生の経済的側面の支援体制が整っています
- ・ 医師や看護師が常駐していないので、学校全体で学生の健康管理をお願いしたい
- ・ 非常時の緊急連絡など、体制をしっかりと確立して下さい

8 項目別評価結果

[6] 教育環境

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
6-1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	○			
6-2	学外実習・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか		○		
6-3	防災に対する体制は整備されているか		○		

評価結果	適切	不適切
------	----	-----

コメント記載欄

- ・ 適切である
- ・ 適切に評価されています
- ・ 評価は適切です
- ・ CAD室や製図室、材料実験室など必要に応じた設備が整っている
- ・ 就職希望先へのインターンシップ、現場実習の教育体制が整っている
- ・ 年1回、全校生徒による防災訓練を行うことにより、防災意識をさらに高める工夫をお願いします
- ・ 年2回程度、避難訓練を実施しており、防災意識が高まっている
- ・ コロナ禍の感染防止対策が撤廃され、実習や校外研修、スポーツ大会などの行事が復活した

8 項目別評価結果

[7] 学生の募集と受け入れ

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	○			
7-2	学生募集活動において、教育効果は正確につたえられているか	○			
7-3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	○			
7-4	学納金は妥当なものとなっているか	○			

評価結果	適切	不適切
------	----	-----

コメント記載欄

- ・ 適切である
- ・ 適切に評価されています
- ・ 評価は適切です
- ・ パンフレット、募集要項などを活用し、高校訪問など計画的に募集活動が行われている
- ・ 就職実績や2級建築士の取得実績などの教育実績がしっかりと募集活動で伝えられている
- ・ 他の学校と比較しても学納金は適切なものとなっている
- ・ 修学支援制度を改めて学生に周知して欲しい

8 項目別評価結果

[8] 財務

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	○			
8-2	予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	○			
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	○			
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか		○		

評価結果	適切	不適切
------	----	-----

コメント記載欄

- ・ 適切である
- ・ 適切に評価されています
- ・ 評価は適切です
- ・ 募集人数が定員になるよう、建築の魅力を高校生につたえ募集活動を続けてください
- ・ 年度の事業計画をを作成し、その実現のために適正に予算が決定されています
- ・ 財務情報の書類がファイリングされ、事務局にて求められれば閲覧ができるようになっている

8 項目別評価結果

[9] 法令等の遵守

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
9-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	○			
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	○			
9-3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか		○		
9-4	自己点検・自己評価結果を公開しているか	○			

評価結果	適切	不適切
------	----	-----

コメント記載欄

- ・ 適切である
- ・ 適切に評価されています
- ・ 評価は適切です
- ・ 監督官庁や法令を遵守し、適正に学校運営がされていると思います
- ・ 個人情報の管理は規定に基づいて対策されていますが、細心の注意を持って扱ってください
- ・ 自己評価の結果を今後公開することになりますが、継続してお願いします
- ・ 自己評価・学校関係者評価を学校運営に活かして欲しい

8 項目別評価結果

[10] 社会貢献

	評価項目	適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	○			
10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	○			

評価結果	○ 適切	不適切
------	------	-----

コメント記載欄

- ・ 適切である
- ・ 適切に評価されています
- ・ 評価は適切です
- ・ 高校からの要望により、本校を訪問しての体験授業はぜひ続けてください
- ・ 地域に支えられてこそその学校であり、本校の教育資源は要望があれば生かして欲しい
- ・ ボランティアは学生個々の取り組みに負うものであるが、学校側からも奨励をして欲しい
- ・ 保育園などへのボランティアは評価しても良い